

# 銀イオン溶出コントロール剤（ゼオライト系）の開発（2）

## ■ 銀イオン溶出コントロール剤 LH210N

銀イオン溶出コントロール剤（ゼオライト系）は、浄水器中の活性炭層に混合使用されている銀系抗菌剤から溶出した過剰な銀イオンを捕捉することが可能な剤です。

前報では、静置下での銀イオン溶出コントロール試験結果を紹介しましたが、本報では、銀イオン溶出コントロール能の持続性と、浄水器を模した通水条件で評価試験を実施しましたので、紹介します。

## ■ 特長

### ● 持続性

繰り返し使用しても性能が低下せず、過剰な銀イオンを捕捉し続けます。

長時間通水を停止していたとしても、その間に溶出し続ける銀イオンを捕捉することができます。

### ● 水質

水道水や純水などの水質を問わず、銀イオンを捕捉することができます。

## ■ 持続性試験

[方法]

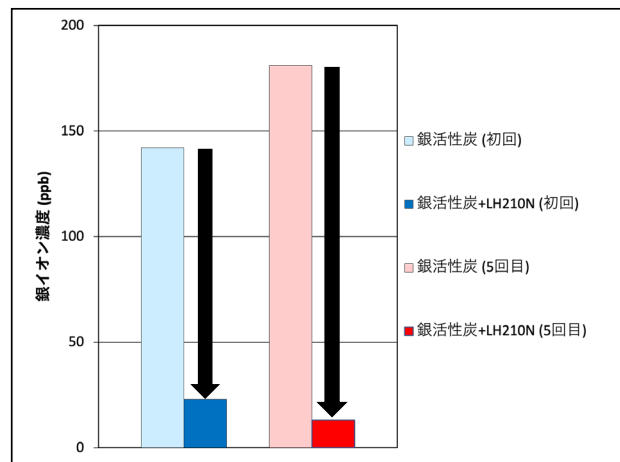
銀系抗菌剤 : A社製 銀活性炭 10g

コントロール剤 : LH210N 1.0g

試験水 : 水道水 (100ml)

接触時間 : 24時間

試験条件 : 24時間ごとに水を入れ替え、  
初回と5回入れ替え後に  
銀濃度を測定。



## ■ 通水試験

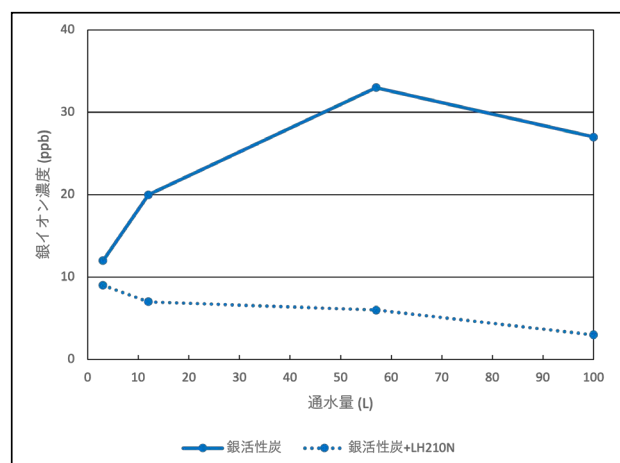
[方法]

銀系抗菌剤 : B社製 銀活性炭 5.0g

コントロール剤 : LH210N 0.5g

試験水 : 水道水 (300ml/min)

試験条件 : 所定時間の通水後、  
一晩通水を停止。  
翌朝、初流水の銀濃度を測定。



株式会社シナネンゼオミック

研究開発部

〒455-0051 名古屋市港区中川本町1-1

TEL: 052-653-3201 FAX: 052-654-2369

URL: <https://www.zeomic.co.jp/contact/index.html>

For a Richer, More Comfortable Life 